

議会だより

 吉野川市

NO.15



目次

| | |
|-----------------|-----------------|
| 代表・一般質問……………P 2 | 市民のページ……………P14 |
| クイズ……………P 9 | 市民の皆さんへの募集……P16 |
| 議案の審議から……………P10 | |

キャンドルナイト2008 川島城にて

■発行／吉野川市議会
■住所／〒776-8611
■TEL.(0883) 22-2241

■編集／議会広報特別委員会
徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
■FAX.(0883) 22-2242

2008.8.25

代表・一般

ここが聞きたい

質問

6月議会定例会では11名の議員が代表・一般質問を行いました。

●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

① 近久善博 議員

○市長の出馬表明について

●教育施設の、幼・小学校、鴨島運動場等、芝生化の促進について

○定住者促進に向けた施策・事業について

② 高木純 議員

○住宅新築資金等貸付制度の滞納状況について

○市民活動保険制度について

●市の広報について

○空き家バンクについて

○下水道使用料について

③ 田村修司 議員

○小中学生の携帯電話の使用について

●義務教育に関わる予算について

○教育振興基本計画推進について

一般質問

④ 福岡正 議員

○少子化対策について

●下水道の推進について

○老朽化した教育施設について

⑤ 後藤田哲夫 議員

●環境問題について

○情報公開条例について

○財政状況について

⑥ 栗原五男 議員

●ふるさと納税について

○産業振興策について

⑦ 榎納謙司 議員

○教育予算について

●指定管理者制度について

⑧ 中山郁子 議員

●乳幼児医療費助成拡大について

○市政懇談会での住民の学童保育に対する質問について

⑨ 岡田光男 議員

○道路特定財源について

○国指定天然記念物、船窪のオニツツジについて

●「特定健康診査」(メタボ健診)について

⑩ 岸田秀樹 議員

●安全安心のまちづくりについて

○行財政改革について

⑪ 藤原一正 議員

●行財政改革全般について

○環境対策について

○財政健全化法について

代表質問



近久善博 議員
(薫風会)

幼・小学校の運動場の芝生化は

保護者の組織作りが必要

(質問)

(答弁)

◎質問 芝生の上を走ったりころんだりするのが子どもたちの生育に一番よいといわれている。メリットとして、豊かな情操を生みだす潤いのある芝生は優しいやし効果があり精神的安定にも寄与する。環境面では大気浄化の促進、空気中の二酸化炭素を吸収し酸素と栄養分をつくりだしCO₂の吸収率も大きく大気浄化機能がすぐれている。このように多くの利点があるが教育委員会の見解は。

常々難しい。芝生化に関しては地域での盛り上がり、保護者の組織作りが必要である。グラウンドは多目的に利用されており芝生では困難な場合も出てくる。多くの問題があり今後の検討課題としたい。

◎再問 管理体制ができ、事が進んでいこうとこの場合、市としては全面的にバックアップはできるのか。

○教育次長 芝生化にするメリットは理解できるが、芝生の維持管理が非

○教育次長 校長以下職員の間取りがあり、芝生化に取組もうと話があった時点で教育委員会として検討をしたい。



高木 純 議員
(日本共産党)

回覧・配布の文書量が多すぎる

(質問)

広報「よしのがわ」掲載を基本としたい

(答弁)

◎質問 川島自治会連合会の中で多くの会長さんから広報の量が多すぎるとも多すぎるといふ意見があった。

市の広報以外にも文書が5、6枚の時もあるのに、それらをセットすると膨大な量になり、配る方も大変だが見る市民の方も大変だということと改善を求める意見が出た。

他市の例であるが、本市と同じような配布体制をとっていた市が、文書の量が多すぎるとも多すぎなくなったため、思い切って、全ての情報を広報一本にまとめて掲載したところがある。そうすることにによって文書の印刷費を軽減させ、また自治会役員さんの負担の軽減にも

つながった。本市も見習うべきと考えるが見解を伺う。

○総務部長 指摘されたとおり広報以外にも行政文書を送付しており自治会会長には大変お手数をかけている。他の自治体でも様々な工夫を凝らしているようなので、本市でも広報「よしのがわ」を基本として対応していきたいと考えている。

また、別送での文書の配布も必要最小限になるよう各部に要望している所である。

【その他の質問】

◎質問 山川・川島での下水道料金の従量制が始まったが、各戸によって排水が下水につながっていないなど実態は違う。

そもそも水道から出る水の全て下水道料金となるのは理に合わない。

○答弁 今後の検討課題として取り組みたい。



【その他の質問】

◎質問 今年の秋に市長選があるが川真田市長は出馬する意向は。

○答弁 市の発展のため不転の決意で取り組む。

◎質問 定住者促進に向けた施策は。

○答弁 企業立地促進条例を改正し、企業が進出しやすい環境づくりとホームページで空き家情報提供を公開している。



芝生を植えた幼稚園庭



田村 修 司 議員
(清友会)

図書購入費の措置率は

わずか約30%

(質問)

(答弁)

◎質問 平成19年度より学校図書整備5か年計画がスタートし、基準財政需要額総額が平成18年度より69億円増額になっている。学力の基礎は国語力、読解力であることから、国としても国語力や読解力向上のための環境を整えようという方針を、はつきりと打ち出しているにもかかわらず、市町村レベルでは、2億円減っている。図書費は昭和60年一般財源化され、当初数年間は120%の措置率であったが、平成18年度には65・5%、教材費の予算措置率も同様である。これには自治体間格差があり、予算措置率の高いところは139%であるのに対し、徳島県は49%でワースト4位で

ある。本市の図書購入費、教材費の予算措置率と計上額について伺う。

○教育次長 本市の予算措置率は小学校で31・1%、中学校で29・2%である。公立学校の場合、学校図書館に備えておくべき図書の数、学校図書館図書標準に基づき、学級数によって算出されている。本市の場合、小学校全体で、図書標準冊数9万1440冊に対し、蔵書数は12万1280冊で到達率は132・6%。中学校は、図書標準冊数が4万3760冊であるのに対し、蔵書数は3万8364冊と87%の到達率となっている。図書費の充実は重要であると認識しているので、予

算配分等に十分生かしていきたい。

「その他の質問」

◎質問 本市として英語教育のビジョンは。

○答弁 現在山瀬小学校が拠点となり実践的な取り組みをしている。

◎質問 学校校舎の耐震診断と耐震化率は。

○答弁 耐震化率は42・9%。耐震診断は本年度幼稚園、小学校併せて17棟行う予定。



小学校の図書室

一般質問



福岡 正 議員

下水道の山瀬処理区の今後の方向性は

(質問)

川島・川田両処理区に編入

(答弁)

◎質問 合併直後から地域代表者会や、議会的一般質問、また委員会においても再三にわたり本市の方針をただしてきた。18年6月にコンサルに500万円で委託し、調査報告できて1年が経過した。地域住民の声を真摯に受け止め、本市の方針を示すべきとおもいますが、市の考えを伺う。

い、山瀬地域を含めた山川町、川島町全体の効率的な処理区域の設定に、時間を要したが、今後は早く山瀬地域の整備に取りかかる為にも、川島、川田両地域の整備を考えているところである。

○水道部長 山瀬処理区を分割し、川島、川田両処理区に編入していくとの基本方針であり、この基本方針に基づき処理人口を設定をした、これまでの汚水量、汚濁負荷量などの計画の見直しを行





栗原五男 議員

ふるさと納税への取り組みは

効果が発揮できるように取り組みたい

(質問) (答弁)

◎質問 生まれ故郷の自治体に、寄附した場合に住民税を控除するふるさと納税がようやく動き出した。地域間の財政格差を縮小するため、政府が打ち出した看板政策で財政難に悩む自治体にとって、大都市圏などに住む地元出身者の寄附は新たな財源になる。各都道府県、市町村は受付窓口を充実させて、県内外でのPR活動にも力を入れている。本市のふるさと納税に対しての取り組み、受付窓口の設置、PR方法、また寄附はすでにあつたか、寄附してくれた人に対するお礼の考えはどうなっているのか聞きたい。

○総務部長 本市の受付

窓口は総務部秘書企画課が統括。税控除があるので税制関係は税務課。PR方法は現在ホームページの立ち上げ準備を急いでいる。寄附の申し込み

◎質問 企業の新規進出、増設に対する支援は。 ◎答弁 優遇制度などの周知を図るなど、産業振

みは現在の所ない。寄附していただいた方へは感謝のしるしとして本市の特産品などを検討している。ふるさと納税を通して少しでも財政面での効果が発揮できるよう、また、寄附していただく方の志が生かせるよう取り組みたい。

「その他の質問」

◎質問 地産地消に対する考えは。 ◎答弁 交流対話を通じて食と農をつなぎ、農協や農家と連携して地産地消に取り組みたい。

興に取り組みたい。 ◎質問 空き店舗などの調査及び情報発信の考えは。 ◎答弁 地権者や店舗所有者の意図を調査し活用方法を検討したい。

「こころのふるさと・よしのがわ」応援事業メニュー

吉野川市は、平成16年10月に麻植郡4町村(鴨島町、川島町、山川町、美郷村)が合併して誕生しました。「世代を越えて、夢紡ぐまち」を市の将来像として位置付け、さまざまな施策に取り組んでいます。

この度、ふるさと納税制度により、みなさまの「ふるさと」を応援したいという思いを寄附金という形で実現できるようになりました。寄附金は、次のメニューにより大切に使用させていただきます。みなさまからの応援を心よりお待ちしております。

- メニュー1 「いきいきと、まちがにぎわう吉野川市」づくりのために
～住民参加、交流・連携、地域活性化、農林業、商工業、観光事業など～
- メニュー2 「すこやかに、人をはぐくむ吉野川市」づくりのために
～保健、福祉、少子化対策、学校教育、生涯学習、文化、スポーツ振興など～
- メニュー3 「やすらぎと、美しさのある吉野川市」づくりのために
～安全・安心、防災、環境保護、地球温暖化対策、エコシティなど～
- メニュー4 「市長におまかせ」未来にかがやく吉野川市のために
～上記3つのメニューのほか、吉野川市がさらなる飛躍をめざすために、緊急性・重要性の高い事業に活用させていただきます～

◎ご指定のない場合には、メニュー4「市長におまかせ」未来にかがやく吉野川市のために、とさせていただきます。

◎質問 出産祝い金は条例の2条1に、母親となった者で出産の日、前1年以上引き続き本市に居住したとありますが、子供は妊娠10か月前後に生まれます。またはハネムーンベビーや出来ちゃった婚には該当しないが見直す考えは。

「その他の質問」

◎答弁 改善をする方向で検討をしたい。

◎質問 老朽化した川島幼稚園はどうするのか。 ◎教育次長 審議委員の意見を伺いながら今後の方針を立てたい。



川島浄化センター

川島処理場



榎 納 謙 司 議員

指定管理者制度の効果は

28000万円の節減

(答弁)

(質問)

◎質問 指定管理者制度を導入し3年過ぎたが、この制度に対しどのような評価しているか伺う。

○総務部長 公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ住民サービスの向上を図るとともに、経費削減を図ることを目的として38施設に導入している。その効果については、経費面で19年度は28000万円節減され、住民サービス面では、臨時にこたえる運営ができ、地域密着型サービスが可能になった。

◎再問 良くなった所が多いが、そうでない所もある。民間にすべきか、行政がすべきかを含め今後の取り組みを伺う。

○市長 制度導入の目的は一定程度果されていると考える。今後も指定管理者と担当部局が緊密な連携を保ちながら、運営状況を確認し市民サービスの向上につなげたい。他の施設についても、各施設のあり方等十分検討し、指定管理者にするか民間にまかせるか見きわめたい。

◎再々問 保育所の指定管理者制度導入は、十分協議し、子どもの心の成長を理解し慎重に決めてほしい。

○市長 保育所については、内容も十分検討して真剣に取り組んでまいりたい。



中山 郁子 議員

乳幼児医療費の助成拡大を強く求む

今後の大きな課題として検討

(答弁)

(質問)

◎質問 以前に義務教育終了まで、乳幼児医療費助成の拡大を要望した。一歳を拡大するには、1500万円の予算が必要なため無理であるとの事であった。しかし、子育て支援には安心と経済的負担軽減が必要である。

小学校6年生終了までが無理であれば、まず段階的に、3年生終了までの拡大と6年生終了までの入院費助成ができないか伺う。

○健康福祉部長 平成18年10月に県補助制度の改正に伴い、7歳未満児まで入院、通院とも助成制度を拡大した。これは県の制度とは違い、所得制限自体は市独自事業とし

て撤廃している。

小学校3年生終了まで無料化にすると、所得制限を撤廃すれば、約3750万円の一般財源が必要となる。また、小学校卒業まで入院費のみ無料化にすると、約1430万円の財源が必要となる。子育て支援の観点からはさらなる拡充が望ましいので、今後の課題として考えたい。

◎再問 市の予算の厳しい中ではあるが、少子化が進む現在、是非とも助成拡大が必要と考える。市長の見解を伺いたい。

○市長 子育て支援の観点から有用な制度であると考えているが、今後、



岡田 光男 議員

メタボ健診でどうなる

目標達成できなければ負担あり

(答弁)

(質問)

◎質問 医療費削減のための特健健診が始まっているが、実施率やメタボ該当者の減少率などの目標値の設定は。また、達成できなかったらペナルティーが課せられるが、どのようなものなのか伺う。

○市民部長 平成20年度から40歳から74歳を対象に糖尿病等の生活習慣病に関する特定健康診査及び特定保健指導の実施が義務化された。平成19年度の国保被保険者の受診率が38.2%であるが、平成20年度では受診率を



○答弁 可能な限り学校の要望にこたえたい。

◎質問 子どもの成長にかかせない読書環境づくりは。

【その他の質問】



指定管理者制度で運営されている川島城



いろいろな部分を十分な研究、検討をしたい。

◎再々問 阿波市ではすでに12歳まで助成拡大が決まっている。本市でも来年4月から実施できないか再度伺う。

○市長 今後の大きな課題として十分考えたい。

【その他の質問】

◎質問 空き店舗の提供があり、鴨島小学校区の学童保育が実現すると聞くが行政の対応は。

○答弁 少し改造は必要。条件が整えば支援したい。



45%、保健指導の実施率は25%として、平成24年度の第1期計画目標年度では受診率を65%、保健指導の実施率を45%、また平成20年度と比較してメタボ該当者及び予備軍の減少率10%に目標を設定している。

平成24年度の特健康診査の受診率、保健指導の実施率及びメタボの該当者及び予備軍の減少率の達成状況により、平成25年度より被保険者が負担する後期高齢者支援金に対し10%の範囲内で加算、減算が行われることになっている。

◎再問 受診率や数値目標が達成できなければ10%負担が高くなる、肥満の人にとっては肩身の狭い制度となっている。目標値をクリアするためにどうするのか、達成できなかった場合だれが責任をとるのか、伺う。

○市民部長 今年度は受診率を上げるために、特定健診とがん検診を同時に実施をし、休日においても健診を行う予定である。

る。また、40歳未満の若年者に対しても、30歳、35歳の節目健診を実施する。広報等による周知の他、市内各地区での行事等に担当保健師が出向き、特定健康診査の説明をしている。

目標達成できなかった場合の責任は、各医療保険者が負うことになるが、被保険者である市民にも支援費という形で負担を願うことになる。

【その他の質問】

◎質問 道路特定財源は国民の声もあり、一般財源化へ傾いているが。

○答弁 道路に対する財源は必要であり、これからも陳情、要望していきたい。

◎質問 船運のオンツツジについて、下草を刈ったりしているが。

○答弁 下草や雑木も群落の生態系を保つ一員であり、欠く事のできない要素である。



岸田 秀樹 議員

安全安心のまちづくりについて

(質問)

避難所の耐震化計画は防災上重要課題の一つ

(答弁)

◎質問 本市は自主防災会の立ち上げに、行政と市民が一体となり積極的に取り組んできた事により、設立も89%を超過する状態になってきている。市が配布した防災マップでなく各地域の自主防災会が独自の防災マップの作成をしているが、市が決めた避難所と違った場所を決めた場所には職員の派遣ができる。それ以外は無理だと言っているが、行政の立場で考えるのではなく市民の立場に立って考えた場合、市が作成した防災マップの見直しを早急にすべきと思うがどの様に考えているか。

また、防災局として避難所に指定している小・中学校の体育館の耐震化

情報をどの程度把握しているか伺う。

◎防災局長 避難所の耐震化計画については、防災上重要課題と考えており、特に指定避難所として小・中学校の体育館は21棟である。その内、昭和56年以前に建てられたのは12棟であり、学校施設の耐震改修計画、指定避難所までの順路の確保など、自主防災組織に対してきめ細やかな情報を知らせる為にも、関係各部署との情報を密にして市民の安全確保に努めていきたい。

◎再問 指定避難所である学校施設の耐震化の遅れに対して、市が作成した防災マップを早急に見



藤原 一正 議員

幼・保の総合的な見直しは

(質問)

市民参加のもとで検討

(答弁)

◎質問 行財政改革は本当に決死の覚悟で取り組まなければならないにもかかわらず、今の計画は手ぬるいのではないか。

指定管理者制度は民間活力の導入により、管理運営コストの削減等のメリットはあるがデメリットについても考えているのか、また少子化により各幼稚園の規模が縮小し集団教育の機能が不十分であり保育所の民営化とともに、総合的な見直し・統廃合を含め検討してはどうかと考えるが。

◎総務部長 今後とも行財政改革のさらなる推進により経費の削減等を図り、財政状況を見極める判断指標の上昇につながるらない施策の執行に努

め、財政の健全化を進めなければならないと考え

◎教育次長 幼稚園の統廃合を含め、今年度策定の教育振興計画の中で、幼児教育のあり方を市民参加のもとで総合的に検討したい。

◎健康福祉部長 保育所の民営化移管についてはですが、保護者と指定管理者制度移行の説明の際に市の管理のもとで導入するのならば理解するという意見でした。保育所の統廃合については子育て支援・保育所運営検討委員会の中で検討したい。

◎再問 吉野川市独自で

するような長期ビジョンについて伺う。

◎第一副市長 現在の計画を見直すにあたりいろいろな議論をさらに煮詰め吉野川市が継続して発展できるように計画にしたいと考える。

◎第二副市長 単なる行政の効率化を目指すだけでなく、多様化する市民

ニーズを把握して的確に対応する形での行財政改革を進めなければならないと考える。

【その他の質問】

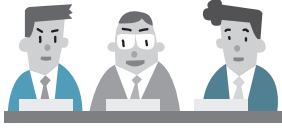
◎質問 ごみ減量化の取り組みは。

◎答弁 リサイクル中心の循環型社会へ取り組みたいと考えている。



鴨島中央保育所

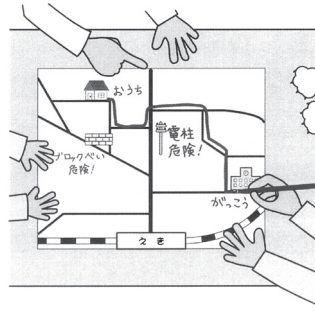
本会議・委員会の傍聴をしませんか



皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。

どなたでも傍聴できます。
お気軽にお越しください。

TEL 22-2241



直し、耐震化が出来るまでは指定避難所から除外すべきであると考え、どの様な処置を考えているか伺う。

○市長 学校施設の耐震化問題については、統廃合を視野に入れて検討していきたい。




○答弁 市政懇談会の中で健全な行財政改革を行えという意見もあった。

◎質問 行財政改革の中、隣に体育館があるのに川島中学校の体育館は必要か。

【その他の質問】

- ◎（前回の答え）
- ① 一言居士
 - ② 有為転変
 - ③ 山紫水明
 - ④ 秋霜烈日
 - ⑤ 九十九折
 - ⑥ 貧者一灯（燈）
 - ⑦ 無芸大食
 - ⑧ 有終之美
- 応募総数は88通でした。
- ◎正解者の中から抽選で10名に記念品を進呈します。
- ◎応募要領／はがき、またはファックスに答えと住所氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局までお送りください。
- ◎送り先／〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115-1
TEL 0883-22-2241
FAX 0883-22-2242
- ◎締め切り日／平成20年10月10日



四角形に2画だけ書き加えて、どなたもご存じの漢字を作ってください。四角形は大きくても小さくてもよく、正方形でも長方形でもよいことにします。

10以上できた人を正解とします。

クイズ



チョットひと言

・おばあちゃんにすすめられて初挑戦。辞書を引いて調べました。新しい広辞苑がほしいです。
（鴨島町 中山さん）

・大人になっても知らない言葉はたくさんあるものです。辞書を何年ぶりに広げ、楽しみながら答えをさがしました。知識が増えました。
（山川町 駒坂さん）

審議から

6月定例会では、条例関係案1件、予算案10件、人事案1件、その他6件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

文教厚生常任委員会

専決処分

▼平成19年度吉野川市一般会計補正予算

◎委員 合併後の生活保護世帯の推移とその傾向について伺う。増額こそ必要でないか。

○答弁 18年4月では426世帯・19年4月で433世帯・20年4月で449世帯と若干増加傾向にある。要因としては、19年度においては世帯主等の疾病によるものが多く、20年度は高齢者世帯が増加している。

◎委員 保育所費において、需用費・工事請負費・賃金において多額の不用額が計上されているが、これは、当初の予算等に問題があったのではないかとと思われる。内容について説明願いたい。

○答弁 需用費については、職員に経費節約をするように指導した結果

であり、賄い材料費の281万円の減額は当初予定した入所者数が減少したためである。また、工事費の119万円は請差による減額、賃金の1121万円の減額は、臨時保育士の土曜保育を振替休日にて対応したこと、病休対応の予算が不用となったためである。今後の対応として、精査し検討していきたい。

補正予算

▼平成19年度吉野川市介護保険特別会計

◎委員 介護保険料について3年で見直しと聞いているが、今後保険料が上がる見通しなのか。また、予防の啓発等を強化することで、保険料を抑えるよう努めてもらいたい。

○答弁 21年度に見直しを予定している。現在の状況は18年度で、約2億円、19年度で約3億円の

増加となっている。要因としては、65歳以上の高齢者が増加しているためであり、見直しにおいては若干上がると考えている。

◎委員 地域支援事業で減額されているが、予防ができていないためか内容について説明願いたい。

○答弁 地域支援事業は、利用者負担が1割必要であり、なかなか理解してもらえないこと、PR不足により利用者が少ないことが要因と考えられるので、今後PRに努めたい。

◇以上異議なしで可と決す

条例制定

▼吉野川市保育所条例の一部を改正

◎委員 昨年度からの保育所運営検討委員会は、指定管理者制度導入ありきで、進められたものではないのか。指定管理期間が5年間とのことだが、

なぜ5年間なのか。また、行財政改革の名のもと弱者を切り捨てるのではなく、保護者が選択できるように窓口を広げるのが行政の役割でないか。

○答弁 保育所の指定管理者制度の導入は、昨年の子育て支援市民検討会議において、導入すべきであるとの意見があり、これを受け、保育所運営検討委員会で議論し、導入することとなった。指定管理期間については、受託者がある程度安定的に運営できる期間として先進地を参考に5年間くらいが適当であるとし



平成20年6月議会

定例会 議案の

日程：平成20年6月2日～6月23日

○答弁 仕入れ単価が入札によって安くなった。しかし販売単価について

◎委員 塵芥処理費の消耗品で、ゴミ袋の購入の入札請差等により、460万円減額となっている。ゴミ袋の買値が安くなったということで、売値も安くできるのでないのか。また、それだけ安くついたら分、他に有効に使う方法を考えるべきだと思うが。

専決処分

▼平成19年度吉野川市一般会計補正予算

総務常任委員会

は施行規則の改正が必要である。安く入札できた事で、その差額に関してはゴミ処理に有効に活用できるように検討したい。

○答弁 18年度においては、古紙類に関しては処理委託をしていたが、19年度では、売り払いした

◎質問 資源、ゴミ分別業務委託料等が減額となった原因は何か。

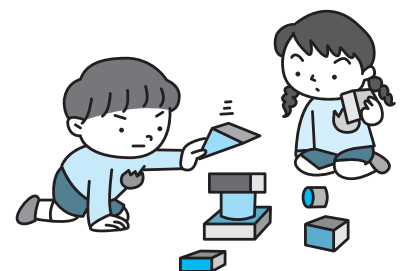
ため予算が不用となり減額となった。
◇異議なしで可と決定



た。また、保育所に民間活力を導入することにより、サービスの向上が図られること、運営効率を高め経費の削減を図ることが主な目的であり、弱者切り捨て施策ではない。

○答弁 現在募集要綱を作成しているが、現運用よりサービスを拡大する方向で考えている。特別保育事業については、市と協議し進めていくよう

◇賛成多数で可決



よくなるのか。また、配置されている保育士の処遇及び保育料について説明願いたい。

になつてゐる。また、保育料は市の条例により徴収することとなり、保育士については正規職員は市直営の保育所に異動することとなり、臨時保育士は指定管理者に継続して雇用してもらえよう要望する。

産業建設常任委員会

専決処分

▼平成19年度吉野川市一般会計補正予算

◎委員 道路新設改良費の1550万円が全部残っている山川の川田2号線というのは19年度に取りかかれなかったのか。

○答弁 用地関係等の交渉をしていたが、年度末が押し迫ってきたので、予算編成時に次年度に計画変更・予算措置をしてもらい、20年度に工事を

することとなった。

▼平成19年度吉野川市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算

◎委員 特定環境保全公共下水道の接続可能戸数、接続戸数、接続率、また、19年度の接続率の伸び率について伺う。

○答弁 川島処理区の接続可能戸数317戸、接続戸数68戸、接続率が約22%、伸び率が約20%で川田処理区の接続可能戸

数は682戸、接続戸数は290戸、接続率が約46%で伸び率は約6%である。

◎委員 川田処理区の接続率の伸びが鈍化しているが、どう対策をとるのか。

○答弁 工事の際の地元説明会、担当者による戸別訪問等、いろいろな状況に応じた説明をするなどの対策をとり、接続率の拡大に向けて全力で取り組んでいきたい。

◇以上異議なしで可と決定

環境対策特別委員会

▼ごみ減量化に向けての取り組みについて

◎委員 廃食用油の回収場所が各庁舎になっているが地区公民館等に設置する予定はないのか伺う。

○答弁 廃食用油の拠点回収は管理に難しい点があるが、回収量を伸ばすためにも各地域の皆様のご協力をいただければ回収拠点を増やす検討をしたい。

◎委員 一番多い可燃ごみは生ごみである。段ボールコンポストが生ごみの減量化に効果がある。またコスト的にも安価であるので、材料提供をするなどして推進してはどうか。

○答弁 これまでの講習会開催時には、機材を市で購入していたので、今後参加者には原材料を提供する形をとりたい。

◎質問 ごみの量を年度末までに何トンに減らすという具体的な目標を立てる計画はないのか。

○答弁 具体的な数値目標を定め、取り組むことは効果的と考えるので、目標数値等について検討していきたい。



川島及び川田処理場



廃食用油の回収

討 論

吉野川市保育所条例の一部を改正する条例制定について 賛成者多数で可決

反対討論

高 木 純 議員

この制度の目的は、財政が苦しいからというところが中心になっている。今子育てしにくい環境は、90年代後半以降から労働規制の緩和によって、男性も女性も不安定雇用、長時間労働が広がり、安心して子どもを生み育てる余裕が経済的にも時間的にもないという問題がある。

私たちは、民間委託が悪いということではなしに、そうした子育てしにくい環境に市が積極的にかわっていき、また子どもの権利条約に基づき改善や見直しをしていく、このことが国や自治体の役目だと考える。

今回の制度導入は、県下の他市に先駆けての条例提案であるが、もつとほかに財政の見直しをすべきところがあるのではないかと考える。よって、財政難のしわ寄せを子どもに持つてくるという保育所の指定管理者制度の導入はなじまないというふうに考えるものである。

指定管理者制度は、そもそも基本的には財政難を克服するために使うものだと考えているが、この保育所の指定管理者制度の導入によって、ここを突破口に、これから先、教育や福祉に指定管理者が持ち込まれれば、問題が出てくるのではないかと思う。そういう意味で、根本的な部分での危惧する部分があり、反対をするものである。

賛成討論

栗 原 五 男 議員

この条例は、指定管理者制度を活用し、市立保育所の管理運営を民間事業者に委託することにより、市民ニーズの高い、延長保育などの特別保育に係わる保育サービスの充実を図るとともに、特色のある自主事業を実施することにより、運営の魅力がアップし、保育ニーズに対する効果が期待できるものである。

吉野川市では、民間事業者の認可保育所も開設されており、地域の評判も良い状況であり、限られた財源を有効に生かすこと、最少の経費で最大の効果を上げるという自治法の精神、そして民間で

できることは民間に任せるということを考えれば、保育の民間委託は進めていくべきであると思う。

実際に、本市の試算において、定員1000人規模の保育所を公設民営化した場合、年間4000万円程度の経費の削減が見込まれる。

また、平成15年8月の厚生労働省の次世代育成支援施策研究会の報告書でも、官民の役割分担の観点を踏まえ、公設民営形式の推進や公営保育所の民営化など、民間活力の導入を進めていくことが適当であるとされている。

本市での導入に当たっては、保護者役員会、また保護者会とも協議をしており、反対意見もなかった状況である。

以上のことから、吉野川市保育所条例の一部を改正する条例制定について賛成するものである。

市民のページ

教え子五十年の歩み

— 教え子の声が良薬 —

山川町川田 原田 政子

60年前の教え子から起業「五十年の歩み」と記念品が贈られ教師冥利と感動しています。山村小学校で男の子を3・4年生を教えました。赴任した日、お母さんは、「こは谷合い湿気が多い。布巾を干そう。」と言われおかげで初めての土地不安も消えよく眠れました。

歩みを読むとお母さんから「お前は石橋をたたくて渡る子じゃ。」とインプットされています。社長になって周到に事業計画を設定し七転八起を心がげギャンブルに絶対に出さない謙虚な態度で慎重に行動しています。

「人に感謝しない子は成功はおほつかない。」という諺は本当でした。何ととっても社長心得の「技術の研鑽と知識の修得」に励んだことです。納入する品は良質でなくてはならない。そのため技術の練磨に専念したのです。また、「友を選べ、そのために自分がよき友たらんとせよ。」と心がけている。優れた人の話を聴き知識を高めています。

その頃は終戦の前後2年間自動車も走らず学校へは歩いて2時間かかりました。土曜に家に帰り日曜の夜は学校へ戻ったのです。母は「どうして。そんなにまで行くんです。」とふしぎだったのです。「早く子どもたちと会いたい」一心でした。風邪を引き宿でふせていました。子どもたち数人が七輪を持ち込みおかゆをつくらせてくれました。梅干しにおかか。「早く学校へ来てな。」と帰りました。お母さんにお礼を言うと「垢と汗のおかゆの味はおいしかったでしょう。」と笑った。



脳出血で倒れ後遺症があります。電話での慰めのことばは最大の良薬です。ケアの先生方のおかげで幸い合併症もなく回復しています。それにしても教育の評価は半世紀です。

市民も自立を

川島町桑村 松島 日出子

市の財政難は周知のとおり、夕張市のようにならなければ良いと思うのは誰しも同じだと思いません。そのようにならないためには、行政だけの努力だけでは無理だと思えます。行政・議会・職員・市民が一体となって真剣に取り組まなければなりません。

来ません。私たち市民は、要望ばかりするのはなく、自分たちでできることは自分たちでしませんか、また行政は今まで住民サービスをしていたことができなくなったらはつきりと歯に衣着せず市民に納得してもらおうまで説得するのが大切だと思います。

私は、川島地区の地域審議委員を二期にわたってさせていたでいます。4年目に近づいてはつきり見えてきたものがあります。それは私もですが、市に対して要望はします。しかし、私たちが市民が市のことを考えて行動しているかといえれば胸を張って私はしていますとは言う自信はありません。市があつて私たちが市民があるのです。反対に私たち市民がいるからこそ市政が成り立っているのです。車の両輪ではありませんか。どちらかが欠けても走ることは出

また、市民も財政が豊かな時ならまだしも財政難・危機の時に何でも行政にしたららつて当たり



前という考えを捨てませんか。私も偉そうにはいえませんが、しかし、自分が生まれ育ったそして現在も住んでいる吉野川市が合併時に「夢紡ぐ町、住んでよかった」という町がずっと続いて欲しいと願っています。そのためには、私ができることは自分でやっつけていこうと思っています。市民の皆さんも自分たちができるところは自分たちでやってみませんか。どうしてもできない時は、行政にお願いして自立しましょう。私たちが市民も…。市民が頑張つて行政・議会・職員の皆さんが市民がこれだけやっているのだからうかうかできないと思つてもらおうくらいに、要望ばかりでなく私たち市民の力で頑張つていきませんか。それで行政はじめ各機関が動かなければ笑われるのは市民でなく行政の方です。市民の皆さんがんばりましょう。私たち市民と行政・議会・職員さんは上下関係ではないのですから。

6月議会定例会において 正副議長の改選・監査委員の選任(議会選出) 及び 委員会構成の変更がありました

議長あいさつ



議長
枝澤 幹太

どんなに月日が過ぎ去ろうと、滔々(たうたう)と流れる大河、吉野川の古えからの姿は変わらぬ。自然の摂理(せっり)に人は「人が人で有り続ける」

と言葉で意志の疎通を図る。言葉は時には武器となり時には平和の証となる。使い道を違えず、公平、公正に、議員である前に、人として、人間として真つすぐに淡々と気負うことなく平常心で歩いて行きたい。今まで同様、そしてこれからも。皆様のご支援ご指導を心よりお願い申し上げます。議長就任のご挨拶といたします。

副議長あいさつ



副議長
工藤 俊夫

6月定例議会6月2日開会日、議員各位のご推挙により、第五代副議長の要職を担うこととなりました。

微力ではございますが、議長をサポート役として、議員各位にご協力いただき、課せられた職務に誠心誠意取り組んでまいります。

これからの吉野川市の発展、そして山積みする諸問題ひとつひとつを解決できるよう努力し、本市がどこよりも安全で安心な生活のできる『世代を超えて、夢紡ぐまち』を目指します。市民の皆様におかれましても、ご指導ご協力を心よりお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。

各委員会構成

【常任委員会】

総務常任委員会

委員長 細井 英輔
副委員長 岸田 秀樹

委員 西岡 久

委員 山下 智

委員 犬伏 正春

委員 枝澤 幹太

委員 中山 郁子

委員 榎納 謙司

文教厚生常任委員会

委員長 榎原 五男

副委員長 岡田 光男

委員 田村 修司

委員 福岡 正

委員 増富 義明

委員 北川 義一

委員 藤原 正

産業建設常任委員会

委員長 玉水 好夫

副委員長 谷田 義一

委員 近久 善博

委員 河野 利英

委員 工藤 俊夫

委員 高木 純

委員 後藤田 哲夫

監査委員(議会選出)

近久 善博

【議会運営委員会】

委員長 山下 智

副委員長 河野 利英

委員 近久 善博

委員 岸田 秀樹

委員 高木 純

委員 後藤田 哲夫

委員 中山 郁子

【議会広報特別委員会】

委員長 岡田 光男

副委員長 中山 郁子

委員 栗原 五男

委員 田村 修司

委員 犬伏 正春

委員 榎納 謙司

【環境対策特別委員会】

委員長 福岡 正

副委員長 榎納 謙司

委員 谷田 義一

委員 工藤 俊夫

委員 玉水 好夫

委員 高木 純

委員 藤原 正

【薫風会】

代表 近久 善博

副代表 河野 利英

経理責任者 栗原 五男

代表 枝澤 幹太

副代表 玉水 好夫

経理責任者 榎納 謙司

代表 細井 英輔

副代表 福岡 正

経理責任者 榎原 正

【麻植会】

代表 谷田 義一

副代表 後藤田 哲夫

経理責任者 犬伏 正春

代表 藤原 正

副代表 増富 義明

経理責任者 岸田 秀樹

【清友会】

代表 工藤 俊夫

副代表 田村 修司

経理責任者 西岡 久

代表 山下 智

【日本共産党】

代表 高木 純

経理責任者 岡田 光男

代表 北川 義一

代表 中山 郁子

【民主党】

代表 高木 純

経理責任者 岡田 光男

【公明党】

代表 中山 郁子

経理責任者 榎納 謙司

【明光クラブ】

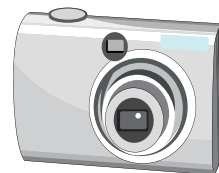
代表 榎納 謙司

募 集 要 項

- テ ー マ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など
- 規 定** モノクロ及びカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可（3点まで）住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 原 稿 料** 5,000円
- 締め切り** 平成20年10月10日（消印有効）
発行は11月です。季節感のあるものをお願いします。
- そ の 他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用及びトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応 募 先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

募 集

表紙の写真



異常気象の影響か？暑い毎日が続いておりますが、稲穂も色づき始め収穫の季節となりました。私たち議員も行政にいろいろな提案をしております。

あ と が き

す。先月は牛島幼稚園の保護者の方々が園庭に芝生を植えました。たくさん保護者の方や園児が植えた芝生は、今青々としております。やがて園

栗原 五男

見たちが裸足で走り回る姿が目に見え、うです。今秋に市長選があり、私たち議員も来春には審判が下ります。ますます、こうべをたれて市民のために働けるようがんばってまいります。



市民の皆さんの声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。

： 規 定 :

● 原稿用紙2枚以内（400字詰）
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記（匿名の場合も）

● 締め切り

平成20年10月10日（消印有効）

* 投稿多数等で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正等は、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

： 応 募 先 :

〒776-8611

吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL 0883-22-2241

FAX 0883-22-2242